

# 千葉県立中央博物館 令和6年度 普遍研究課題一覧

## 普遍研究課題 1 (地球誌系: 地形地質学的多様性に関する基礎研究)

系	整理番号	研究タイトル	代表者名	分担者名	研究内容 (300字以内)
地球誌系	1	東北日本弧新第三紀火山活動の特徴	高橋直樹		東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探索することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的関係を中心に調査を進める。
地球誌系	2	十脚甲殻類化石の古地理学的・古生態学的研究	加藤久佳		主として東日本産十脚甲殻類化石の分類学的な記載を進め、化石の産状、共産する化石など古生態学的な情報もあわせて検討する。
地球誌系	3	微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究	伊左治顕司		白亜系の軟体動物化石(特に淡水生種、汽水生種)について、微小種を中心にその多様性を明らかにし、古生態や生息環境、古生物地理を議論する。
地球誌系	4	日本列島及び関連する海外地域の花粉・環境誌	奥田昌明		化石花粉から古気候を復元するための基礎資料として、千葉県を含む日本列島とその周辺から表層土壌を収集し、現生花粉群を洗い出してデータ化する。また、令和5年度に採択された科研費を用い、チバニアンの競合地となったイタリア2地点に渡航して、化石花粉を含んだ現地露頭を調査する。
地球誌系	5	日本列島の最終氷期以降の植生変遷	西内李佳		最終氷期(主に2~3万年前)から現在にかけての日本列島の植生変遷を、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。
地球誌系	6	日本海形成に関わる銚子火山岩の地球化学的研究	大木淳一		銚子半島に分布する火山岩の地球化学的特徴から、日本海形成時の前弧火成活動の成因を明らかにする。
地球誌系	7	化石種・現生種に見られるハクジラ類特有の左右非対称な内部形態の意義	丸山啓志		ハクジラ類は脊椎動物の中でも珍しく左右非対称な内部形態(頭骨など)を有する。本研究では、幾何学的形態測定学的手法を用い、その非対称性を定量化し、その要因(機能形態学的・系統的など)を統計学的手法から明らかにする。
地球誌系	8	人新世の生物学	千葉友樹		浅海域の堆積物(砂、泥、貝殻など)から、外来種の移入や人間活動が生態系に及ぼす影響を明らかにする。
地球誌系	9	西南日本の古第三紀から新第三紀地質体発達史の解明	菊川照英		南西諸島から房総半島にかけて分布する西南日本外帯の古第三紀から新第三紀の地質体に関して、その層序や年代、構造を明らかにし、その地域全体の形成過程や地史を復元する。
地球誌系	10	島弧斜め衝突帯の地殻構造改変に関する地形学的研究	山中 眞		関東~中部の複雑な地形環境の成立要因として、第四紀におけるフィリピン海プレートと北西進を反映した伊豆弧の本州弧に対する右斜め衝突運動に着目する。本州弧中央部と伊豆弧北端部を対象に活構造の分布・運動様式・運動速度・活動開始時期および活動履歴を解明し、それらの変遷にもとづいて島弧の斜め衝突に伴う地殻構造改変がどのような時空間スケールで生じるかを考察する。

## 普遍研究課題 2 (生命誌系 1: 分類学的多様性に関する基礎的研究)

生命誌系1	1	十脚甲殻類の分類	駒井智幸		全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基礎整備に貢献する。環境DNA分析も広く試行されるようになってきているので、16S rRNAマーカーの配列の蓄積も進める。
生命誌系1	2	地衣類の多様性に関する研究	原田 浩	坂田歩美・共同研究員・市民研究員	主として日本および周辺地域を対象として、地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究を行う。今年度は、(1)「日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開」を継続しデジタルミュージアム「日本の地衣類(ウェブ図鑑)」等のコンテンツの充実を図り、(2)海岸など特殊環境に生育する地衣類の多様性解明、等を、共同研究員・市民研究員・館外研究者と協力して実施する。
生命誌系1	3	日本産地衣類の分類学的研究	坂田歩美		リトマスゴケ科を中心に日本産地衣類の分類を形態、分子系統、含有成分に基づいて明らかにする。
生命誌系1	4	樹幹流を利用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発	坂田歩美	宮 正樹	樹幹流を利用した樹上生物多様性モニタリングの新たな基盤技術の開発を行う。
生命誌系1	5	バラ属植物の香りの研究	御巫由紀		バラ属の野生種、オールドローズ、現代品種の香りを分析し、フルーツ香の香りの起源を明らかにする。
生命誌系1	6	環境DNAメタバーコーディング法の改良・開発・実践	宮 正樹	共同研究員	魚類環境DNAメタバーコーディング法(同時並列多量分析)を日本各地のさまざまな生態系に適用し、魚類群集の時空間動態を明らかにする。本年は南西諸島を中心に調査を行うとともに、共同研究者と南アフリカやアマゾン川流域のサンプルを解析する。
生命誌系1	7	関東地方に生息するメダカの系統及び分布に関する研究	後藤 亮		メダカには関東地方に固有の系統がいることが知られている。環境DNAメタバーコーディング法を用いて、各系統がどのように分布しているのか明らかにする。
生命誌系1	8	アジアの低緯度地域における有鱗目の多様性に関する研究	栗田隆気		アジアの低緯度に広がる湿潤熱帯・亜熱帯地域において、トカゲ・ヘビの仲間(有鱗目)が種を多様化させたプロセスを分類、系統、集団遺伝、生態など、様々な情報に基づいて明らかにする。
生命誌系1	9	高山帯における植物分類学的研究	天野 誠		高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、北半球の高山帯及び寒帯の植物相の調査は欠かせない。本研究は、高山帯で多様に分化した分類群を生物地理学的観点も含めて、研究するものである。
生命誌系1	10	糞ハンズ・オン標本の研究	丸山啓志	館外研究者	様々な動物の糞ハンズ・オン標本を作成し、形態学的研究を進める。また、従来失われていた糞中の未消化物の3次元データをCTスキャンや薄片観察により、取得する。併せて、安心安全な運用のできる教育普及活動への活用も推進する。
生命誌系1	11	アリヅカムシ亜科甲虫の分類学的研究	樽 宗一郎		日本を中心としたアリヅカムシ亜科について分類学的研究を行い、ファウナを明らかにする。
生命誌系1	12	日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究	萩野康則		日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約30種であるが、潜在的には100種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。
生命誌系1	13	日華区系植物の分類学的研究	山本伸子		千葉県をはじめとする日本の植物相の起源と成立を解明するために、分類学的観点から東アジア・ヒマラヤ地域における維管束植物の解析を行う。
生命誌系1	14	海産貝類の分類学的研究	照屋清之介		日本列島に分布する海産貝類を対象として分子系統、形態、生態等の観点から分類学的研究を行う。

生命誌系1	15	魚類の分類と生活史	小林大純	インド太平洋の陸水魚を中心とする世界の魚類について系統を考慮した分類学的研究を行うとともに、回避様式をはじめとする各種の生活史についても検討する。
生命誌系1	16	植物宿主に特異的な微小菌類の分子系統地理	梶原行人	植物宿主に対して強い選択性をもつ微小菌類について、国内からの網羅的サンプリングとSNPデータを用いた解析に基づき、分布や遺伝構造、および種分化のプロセス等を解明する。

普遍研究課題 3 生命誌系 2：生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究

生命誌系2	1	ヤドリギ類の生態学的研究	尾崎輝雄	半寄生植物のヤドリギ類（ヤドリギ、オオバヤドリギ、マツグミ、ヒノキバヤドリギ、ホザキヤドリギ等）の分布、生態について生態学的、生物地理学的視点から研究を行う。
生命誌系2	2	水位攪乱・かいぼり等による水環境保全技術の検証	林 紀男	水位攪乱、かいぼりなどによる池の水環境保全について、その機構を解明する。併せて埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みについて、地域特性に応じた留意事項を検証する。
生命誌系2	3	ジシギ類とヤマシギの生活史および分類学的研究	小田谷嘉弥	ジシギ類とヤマシギ（チドリ目シギ科）について、野外での捕獲調査や博物館標本の調査を行い、渡りや換羽等の生活史の記載および分類学的問題の解決を目指す。
生命誌系2	4	絶滅危惧植物の生息域外保全に関する生態・遺伝学的研究	浅野紗彩	博物館で行われる絶滅危惧植物の生株維持、種子保存などの生息域外保全について、現在の取り組みが長期的な保全に有効か検証し、より効果的に生息域外保全を実行する手法について検討する。

普遍研究課題 4（人類誌系：景観史という新領域の創出）

人類誌系	1	大河川流域の地域社会に関する研究	米谷 博	流域地域に対して河川が果たしてきた歴史的な意義と、そこで展開された地域社会について考察する。
人類誌系	2	近代日本におけるマツラバルの果たした役割	島立理子	マツラバルをメディアとしてとらえ、近代日本におけるマツラバルの果たした役割について考える
人類誌系	3	民俗文化の伝播と伝承について	小林裕美	講の行事、祭礼など民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察を進める。
人類誌系	4	生業や民俗技術の継承に関する研究	玉井里奈	生業や、生活と結びついて継承されてきた民俗技術が、社会環境が変化する中でいかにして継承されているかを研究する。
人類誌系	5	寺社祭礼の歴史の変遷と地域社会との関わりについて	鈴木建人	寺社祭礼の歴史の変遷から、地域における社会構造の変化や都市文化の影響、祭礼由緒を通じた地域の人々のアイデンティティ形成について考察する。
人類誌系	6	民俗知識の継承と情報伝達について	榎 美香	地域ごとに継承されてきた民俗知識や民俗技術、また相互の情報伝達の系譜などについて調査研究を行う。
人類誌系	7	河川の流域における信仰の伝播と変容	渡瀬綾乃	河川の流域（とくに利根川）における信仰の広がりや地域ごとの変容について考究する。
人類誌系	8	近世の都市における寺社地の動向	須田華那	近世の都市における寺社地について、都市社会との関係を含めて考察する。
人類誌系	9	中世法と社会の様相に関する研究	園部華与	中世前期に発令された法を中心に、収集・整理を検討することで、法の特徴や当時の社会様相について考察する。
人類誌系	10	明治以降の学校教育と教員の様相	石渡克彦	明治以降、政治的背景や思想的背景のもと変遷していく学校教育のなかで、最前線でその対応を担った教員たちに焦点を当て、その様相を考察する。
人類誌系	11	日本古代の物質文化	小川宏和	日本古代における生産技術、道具と身体の関係、物がもつ象徴性について調査研究を行う。
人類誌系	12	文献史料を用いた中世の儀礼と身分秩序の在り方に関する研究	小出麻友美	中世社会における儀礼及び身分秩序の在り方や地域社会における変容について、文献史料の分析を通じて検討する。
人類誌系	13	房総の中・近世の村落における宗教文化に関する研究	村田憲一	かつて「身を隠すなら房総」とまでいわれた、ふところの深い房総地方の地理的な環境と、さまざまな宗教文化との関係を調査・考察する。

普遍研究課題 5（博物館誌系：博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究）

博物館誌系	1	展示や展示物のイメージに関する基礎的研究	丸山啓志	館外研究者	来館者が展示や展示物に対して抱くイメージを知ることは、企画展や常設展更新を検討する上で有用である。また、幅広い層の来館者の満足度を上げる工夫を考える指針となる。本研究では、①展示の第一印象とイメージの変遷に関する研究、②いろいろな来館者にやさしい展示に関する研究、③「クジラ・イルカ」を例とした展示物に対する研究、④新型コロナウイルス感染症の影響に関する研究、以上4つの課題を基に多角的に取り組む。
博物館誌系	2	来館の難しい人が博物館を楽しむための、チバニアンを用いた地域教育プログラム開発	丸山啓志	高橋一真・館外研究者	これからの博物館の役割に社会や地域の課題への対応が望まれている。とりわけ、様々な要因によって来館の難しい人がおり、アクセス可能なプログラムを開発する必要がある。そこで、千葉県下で知名度が高い「チバニアン」というテーマで、アクセシビリティの高い地域学習プログラム開発に取り組む。
博物館誌系	3	子どもの発達段階に応じて学ぶ「歴史」の教育プログラムの開発と実践	大木淳一		未就学児、小学生、中学生の各子どもの発達段階において、「歴史」を教材として授業に取り上げながら、身近な自然現象へ興味を抱く教育プログラムを博学連携を通して開発し実践する。これにより地域の魅力を発見することで、子ども達の郷土愛を育み身近な自然への関心を誘う。
博物館誌系	4	博物館の自由研究支援事業の効果に関する研究	水野大樹		学校と博物館が連携した事業の一例である自由研究支援事業を対象として、学芸員による助言指導が児童・生徒の学びにどのような効果をもたらしているか明らかにする。
博物館誌系	5	博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究	高橋一真	石渡克彦	先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。
博物館誌系	6	明治期から戦前にかけて収集された哺乳類標本の保管状況に関する研究	下福葉さやか		日本では、明治期に近代的動物学が欧米より取り入れられて以降、多くの標本が制作・蓄積されてきた。戦前に収集された哺乳類標本を中心に保管状況を調査し、それらの標本の収集・移管・損失の経緯を明らかにする。
博物館誌系	7	大繁盛する博物館経営の研究	高橋 寛		新型コロナウイルス感染症の流行などをはじめとする様々な外的要因の悪化に対応するため、博物館・美術館は、忍耐強い経営を続けてきた。ようやく新型コロナウイルス感染症の脅威も一段落となり、これからは発展的経営を試みるまたとない時期が到来したと思われる。発展を加速するにはいかなる経営手法が求められるか様々な過去の失敗事例をもとに研究を行う。

博物館誌系	8	千葉県近代博物館史に関する調査研究	幅 大	昭和40年代の県立博物館整備開始以前の近代博物館について調査研究を行い、地域社会における博物館の役割について歴史的に考察する。
博物館誌系	9	学校に保管されている自然誌標本の実態把握と活用方法開発に関する研究	斎木健一	高等学校等に保管されている自然誌標本の保管状況を調査し、学校および博物館における、これらの標本の活用方法を検討する。